

授業科目名 ( 英文名 )	ドイツ語 2 ( German 2 )	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1 年次・後期
担当教員	小谷 一夫	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	「ドイツ語 1」に引き続き、コミュニケーション・ツールとしての基礎的なドイツ語運用力（聞く・話す・読む・書く）を身につけることを目的とした、ドイツ語初級講座です。ドイツ語技能検定試験 5 級レベルが目標です。		
講義内容・授業計画	<p>【授業内容】</p> <p>さまざまな日常会話をとおして、ドイツ語の発音、語彙、基本的な表現、そして、ドイツ語という言葉のしくみを学んでいきます。平易な会話を聴き取ったり、自分自身のことや自分の考えを簡単なドイツ語で表現できるようになることを目指します。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ドイツ語 1」の復習</li> <li>2. 相手を誘う</li> <li>3. しなければならないこと</li> <li>4. してはいけないこと</li> <li>5. 否定表現</li> <li>6. 一週間の予定を語る</li> <li>7. 意見を求める</li> <li>8. 意見を述べる</li> <li>9. 相手の意志を尋ねる</li> <li>10. 待ち合わせ場所や時間を相談する</li> <li>11. 過去の出来事を語る 1（現在完了形）</li> <li>12. 過去の出来事を語る 2（過去形）</li> <li>13. パーティーでの会話</li> <li>14. ドイツの祝祭日</li> <li>15. まとめと評価</li> </ol>		
テキスト	「ドイツ語 1」と同じテキストを継続して使用します。		
参考文献	適宜、プリントを配布します。		
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】</p> <p>初級レベルのドイツ語運用力を修得した者に単位を授与します。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて S から C まで成績を与えます。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>試験、レポートをもとに総合的に評価します。 成績評価の方法については、新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合があります。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境（PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境）が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない。		
備考			